

コースコード：RH-DO316

税込価格：346,500円 (税抜価格：315,000円)

日数：5日間

ここに注目!!

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

仮想化ワークロードを従来のハイパーバイザーから OpenShift Virtualization に移行することを検討している仮想マシン管理者

コンテナ化ワークロードと仮想化ワークロードの両方を同じ OpenShift クラスタでサポートすることを検討している Kubernetes 管理者
(クラスタ管理者、クラスタエンジニア)

GitOps と Ansible Automation を使用して OpenShift 上の仮想マシンを管理しているサイト信頼性エンジニア

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

Red Hat OpenShift I: Containers & Kubernetes (DO180) を推奨しますが必須ではありません。

無料のスキルチェック (<https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/>)
でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

OpenShift Virtualization を導入した組織は、Red Hat OpenShift が提供する同じオーケストレーションとクラスタリングのインフラストラクチャを使用して、仮想化ワークロードとコンテナ化ワークロードをまとめて管理し、運用コストの削減を実現できます。

OpenShift 上に仮想マシン (VM) をデプロイすると、従来のサーバーベースのアプリケーションと、CI/CD、DevOps、SRE などの先進的なクラウドネイティブ・アプリケーションの統合が容易になり、仮想化ワークロードをコンテナネイティブ・ワークロードとして再設計することなく、市場投入時間の短縮などのメリットを得ることができます。

IT プロフェッショナルは、仮想化ワークロードを OpenShift 上でデプロイして管理し、SSH や Ansible などの従来の方法と、GitOps や CI/CD などの先進的な DevOps プラクティスを使用してこれらのワークロードを管理する方法を学べます。

アウトライン



OpenShift Virtualization の概要

OpenShift Virtualization の機能とユースケースについて説明します。

仮想マシンの実行とアクセス

Red Hat OpenShift Virtualization で仮想マシンを作成、管理、検査、監視します。

仮想マシン用に Kubernetes ネットワークを設定

標準の Kubernetes ネットワークオブジェクトと、VM および仮想マシンを使用するアプリケーションの外部アクセスを設定します。

仮想マシンを外部ネットワークに接続

仮想マシンとノードをクラスタ外のネットワークに接続するようノードネットワークを設定します。

仮想マシン用に Kubernetes ストレージを設定

Red Hat OpenShift で VM のストレージとディスクを管理します。

仮想マシンテンプレートの管理

仮想マシンをプロビジョニングするためのテンプレートを作成および管理します。

高度な仮想マシン管理

仮想マシンのインポート、エクスポート、スナップショット作成、クローン作成、ライブマイグレーション、ノードメンテナンスの開始を行います。

仮想マシン用に Kubernetes 高可用性 (HA) を設定

Kubernetes リソースを構成して仮想マシン用に高可用性 (HA) を実装します。